

# 南河内小中学校 小中一貫教育グランドデザイン

## 特色

2022年度開校の施設一体型義務教育学校です。9年間系統立てて、コミュニケーション能力の育成を目指した教育活動を進めています。家庭や地域の方とともにある学校づくりを目指します。

## 地域の様子

下野市の東にあり、豊かな自然に恵まれ、下野薬師寺跡などの文化遺産があります。国道新4号が南北に走り、「道の駅しもつけ」がにぎわいを見せています。比較的、三世帯同居の家族が多く、新興住宅も増えています。地域の連帯意識は高く、保護者や地域住民は学校の教育活動に協力的です。

## 児童生徒の様子

素直で穏やかな児童生徒が多く、異学年交流が盛んで、下学年を思いやる優しさがあります。また、委員会活動や美化活動に進んで取り組めます。学習面では、真面目で実直に物事を行えるよさを生かし、学習習慣の定着を図ることで、基礎学力の向上に取り組んでいます。

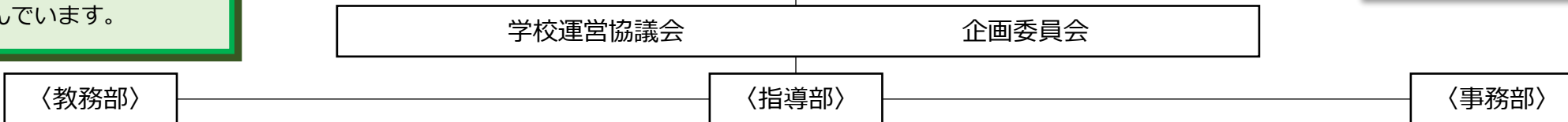
## 南河内小中学校教育目標

ふるさとを愛し 夢に向かって高め合える子を育む  
 ・すすんで学ぼう ・心をみがこう ・体をきたえよう

## 9年間で目指す子ども像と到達目標

1年 ← 学びの基礎をつくる →	2年 3年 4年	5年 ← 学びを広げる →	6年 7年	8年 ← 学びを深める →	9年
○進んでなかよく勉強する子 1 学習のきまりを身に付ける。 2 学習習慣を身に付ける。  ○友だちにやさしくできる子 1 生活のきまりを身に付ける。 2 友だちとなかよくする。  ○元気に楽しく運動する子 1 外で元気に遊んだり、運動したりする。 2 健康で安全な生活をする。		○自ら考え学び合える子 1 自ら考え、ともに学び合う。 2 自主学習の習慣を身に付ける。  ○心やさしく助け合う子 1 自他の良さに気付き、認め合う。 2 みんなのために協力する。  ○健康で元気な子 1 粘り強く体力づくりをする。 2 自他の健康や安全を考え生活する。		○自ら学んで互いに高め合える子 1 学んだ力を発揮し、学びを深める。 2 主体的に課題を解決する。  ○心豊かで助け合える子 1 自己実現に向かって努力する。 2 よりよい人間関係を築く。  ○体をきたえやりぬく子 1 心身の健康を保持推進しようとする。 2 自分の生き方を真剣に考え、生活を向上させる。	

## 組織・体制



## 学習指導部会

- 学校課題研究（基礎基本の定着）  
（主体的に学び合う態度の育成）
- 道徳教育・人権教育  
（人間性・社会性の向上・望ましい言語環境づくり）
- 総合的な学習・生活科（思考・判断・表現力の向上）
- 情報教育（タブレットPCの効果的な活用）
- 読書活動（家庭の習慣化）

## 特活部会

- 学級活動（学級における望ましい人間関係づくり）  
（一人一人のキャリア形成と自己実現）
- 児童生徒会活動（主体的に課題解決を図る態度の育成）
- 学校行事（異学年交流による人間関係の醸成）
- 部活動・クラブ活動（同好の集団としての仲間意識の向上）

## 児童生徒指導部会

- 児童・生徒指導（安心・安全な生活環境づくり）  
（いじめ・不登校等への組織的な対応）
- 特別支援教育（配慮ある生活環境づくり）  
（個別の教育支援計画の活用）
- 教育相談の充実（SC・SSW・QU・アンケートの活用）

## 2022-2023年度南河内小中学校 実践研究「基礎基本の定着」

- 学校課題研究**  
基礎基本の定着を図り、児童生徒が意欲的に取り組む授業を実践します。
- 道徳教育**  
児童・生徒、地域の現状をもとに、重点目標を設定し、道徳教育の充実を図ります。
- 特別活動**  
9年間の全体計画や年間指導を作成し、異学年交流を推進します。
- 総合的な学習の時間**  
地域の方々の協力を得て体験活動の充実を図ります。郷土の理解を深め、ふるさとを愛する心の育成を図る「ふるさと学習」を推進します。
- 児童生徒指導**  
児童・生徒の現状を把握し、共通理解のもと児童生徒の健全な育成のための指導を充実させます。
- 健康・安全・地域連携**  
家庭や地域と協働し、学校区の現状や発達段階に配慮しながら、児童・生徒の体力向上や健康・安全に関する教育の充実を図ります。



授業におけるタブレット活用



5～9年生による専門委員会



1～9年生による清掃活動



1～9年生による全校共遊



1～9年生による体育祭



いじめについての話し合い

**=特色=**

施設分離型で小中一貫教育を進めています。3校が近距離にある環境を有効に活用し、児童生徒間や教職員間の交流を活発に行っています。  
伝える力の育成を通して、確かな学力の向上を目指します。

**=地域の様子=**

本地区は、自治医科大学および大学付属病院の開業、自治医大駅の新設により、急速に発展した地域です。地域住民・保護者は、他地域出身の割合が高く、学校の教育活動に協力的です。

**=児童生徒の様子=**

知的好奇心が高く、学習態度は良好で、課題に対し熱心に取り組むことができます。また、礼儀正しく落ち着いた生活態度で学校生活を送っています。

**南河内第二中学校区小中一貫教育グランドデザイン**

《長期ビジョン》

**夢と希望をもち、たくましく未来を拓く児童生徒の育成**

2022～2023年度 南河内第二中学区  
実践研究「伝える力の育成」  
教育活動全体を通して、考えや気持ちを理解し、互いに認め合える子どもを育成します。  
重点教科（国語、外国語）

《目指す子ども像》

- 〈まなび〉 主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える子ども
- 〈こころ〉 思いやりの心を持ち、自他を大切にできる子ども
- 〈からだ〉 健康に関心を持ち、体力向上に励む子ども
- 〈ちいき〉 社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする子ども

**小中一貫推進運営委員会(管理職チーム)**

児童生徒指導連絡会

プロジェクト委員会

事務共同実施  
(事務職チーム)

**授業研究チーム**

**心づくりチーム**

**健康チーム**

**つながりアクションチーム**

**まなび**

**こころ**

**からだ**

**ちいき**

基礎 基本を定着させ、児童生徒の主体性を引き出します。

自他ともに思いやりの心をもって接する児童生徒を育てます。

健康に対する関心と体力の向上を目指します。

保護者や地域と連携して、地域への愛着を育てます。

達成目標	中2～中3	主体的・対話的に学び、互いに高め合うことができる。
	小5～中1	学び合いを通して、思考力と表現力を高めることができる。
	小1～小4	学習習慣を身に付け、自分の考えをもち、進んで表現することができる。

達成目標	中2～中3	自他のよさを認め、関わりの中で温かい人間関係を築くことができる。
	小5～中1	仲間との関わりを深め、互いに信頼し、協力して活動できる。
	小1～小4	きまりを守り、誰とも仲良くできる。

達成目標	中2～中3	自らの健康管理や体力の向上に進んで取り組むことができる。
	小5～中1	自己の生活習慣に関心を持ち、各種の運動に積極的に取り組むことができる。
	小1～小4	「早寝早起き朝ごはん」を実現し、運動や遊びに進んで取り組むことができる。

達成目標	中2～中3	地域やふるさとへの愛着を深め、地域社会に主体的に貢献できる。
	小5～中1	地域やふるさとへの愛着をもち、地域社会と関わるができる。
	小1～小4	地域やふるさとのよさを知ることができる。

- 9年間を見通した学習指導の推進
- 3校での授業研究（重点教科国語・外国語）
- 学力調査の分析を生かした授業改善
- 家庭学習の定着と充実

- 挨拶の習慣化と望ましい人間関係づくり
- 道徳教育の充実
- 交流活動を通じた自己有用感の育成
- 読書活動の推進

- 正しい姿勢の定着
- 学校栄養職員と連携した食育
- 養護教諭と連携した保健指導
- 体づくりの充実

- 児童会・生徒会によるボランティア活動  
(小中合同クリーン活動)
- 子ども未来プロジェクトの推進
- 地域行事への参加・協力
- 地域ボランティアによる体験活動とキャリア教育の充実



小中教員の相互乗り入れ授業

外国語科の授業



特別の教科道徳の授業



読書活動



姿勢指導



体づくり



小中合同クリーン活動



子ども未来プロジェクト

**各学校の学校教育目標**

**祇園小学校**



響き合い、輝き合いながら共に  
よりよく生きようとする子どもの育成  
○健康で明るい子  
○進んで学ぶ子  
○心の豊かな子

**緑小学校**



自ら考え、主体的に行動できる  
心豊かな子どもの育成  
○学び合う子  
○思いやる子  
○きたえる子

**南河内第二中学校**



人間性豊かで、意欲あふれる中学生  
1 自ら考え学ぶ生徒 (確かな学力)  
2 思いやりのある生徒 (豊かな人間性)  
3 体力と気力をきたえる生徒 (健康・体力)  
知・徳・体の調和のとれた教育で  
「生きる力」を育成

# 石橋中学校区小中一貫教育グランドデザイン

## 石橋中学校区の特徴

分離型で小中一貫教育を進めています。学校規模の違いや特徴を生かした児童生徒の交流や教職員の授業交流を計画的に行っています。全教育活動を通じた心の教育の充実を図ります。

## 児童・生徒の様子

- ・素直で何事にも真面目に取り組んでいる。
- ・基本的な生活習慣が身に付いている。
- ・地域の活動に意欲的に取り組んでいる。

## 地域の様子

- ・学校教育に協力的であり、学校を支援する組織も活発に活動している。
- ・学区には、農業地区・商業地区・住宅街があり、バランスのよい生活環境である。

## 2022-2023年度 石橋中学校区実践研究 心の教育

教育活動全体を通じて、居がいのある学級・学校づくりを推進し、児童生徒の自己肯定感を高め、豊かな情操と道徳性を備えた、社会の中で進んでよい行いができる子どもの育成を目指します。

# 地域とつながり 社会に貢献できる子

石橋小学校



細谷小学校



古山小学校



石橋北小学校



石橋中学校

【施設分離型】

	学び	心	体
到達目標	自ら学び、主体的に自己表現できる子	周囲のことを考えて、行動できる子	心身ともにたくましく、挑戦できる子
深める 中2・3	学んだことを主体的に自己表現したり、自己の生き方に生かそうとしたりする力を身に付けることができる。	周囲のことを考えて行動し、地域や社会に貢献することができる。	体力の向上と心や身体の健康を維持し、たくましく挑戦していくことができる。
広げる 小5・6・中1	学んだことを活用して、論理的に考えたり、表現したりできる。	協力する大切さがわかり、誰に対しても思いやりの気持ちをもって行動できる。	自らの体力向上に向けて、進んで体力づくりに取り組むことができる。
育てる 小1・2・3・4	自分から進んで学び、計画的に学習できる。	約束や決まりを守り、誰とでも仲良くできる。	様々な活動や遊びを通して、楽しみながら運動できる。

## 石橋中学校区小中一貫教育組織



**特色**

隣接型および分離型で小中一貫教育を進めています。

児童生徒理解を中心とした教職員の合同研修の実施や、子ども同士の交流活動を充実させ、中1ギャップの解消に努めています。

**2022～2024 年度**

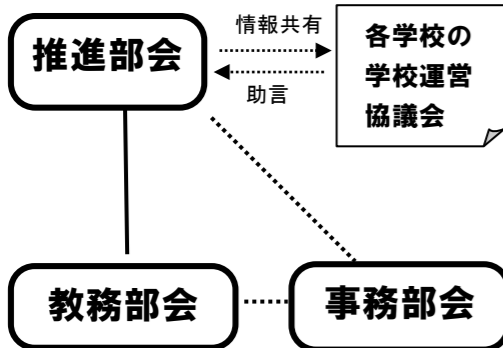
**国分寺中学校区実践研究**

**「学び合いを深める**

**聴く・伝える・関わる力の育成」**

全教科・領域において、4つの部会での取組を通し、学び合いを深める「聴く・伝える・関わる力」を育成します。

**組織体制**



# 国分寺中学校区 小中一貫教育グランドデザイン

## 国分寺中学校区の目指す子ども像

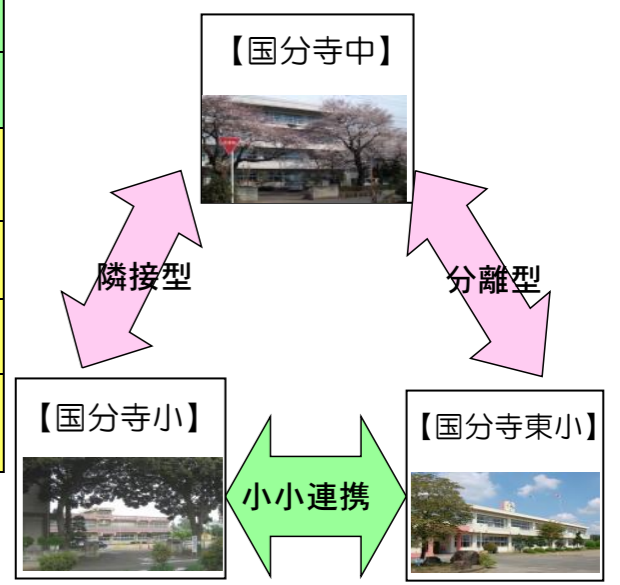
- 学び合い高め合う子ども
- 主体的に人や社会に関わる子ども
- 心身共に健康で自分を大切にしている子ども

<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な意見を、自分なりに解釈しながら聴くことができる。</li> <li>わからないことなどを質問し、話し手の意図を理解することができる。</li> <li>どんな意見でも受容的な態度で聴くことができる。</li> <li>他の人の考えと、自分の考えを比べながら聴くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の人の考えと、自分の考えとを関連づけて伝えることができる。</li> <li>自分の考えを分かりやすく伝えることができる。</li> <li>時と場合に応じた言葉遣いをすることができる。</li> <li>自分の考えを明確にし、理由も交えて伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時と場合に応じてコミュニケーションをとることができる。</li> <li>時と場合に応じたあいさつ、返事ができる。</li> <li>相手の気持ちや立場を考えて、自分の思いを伝えることができる。</li> <li>話を最後まで聴き、自分の思いを伝えることができる。</li> <li>自分から元気のよいあいさつ、返事ができる。</li> </ul>
聴く	伝える	関わる
安心感をもって学び合える学級		

学びを深める	中3
	中2
学びを広げる	中1
	小6
	小5
学びの基礎をつくる	小4
	小3
	小2
	小1

**児童生徒のようす**  
 明朗で礼儀正しく、落ち着いた態度で学校生活を送っている。特に、学習に対する意欲が高く、学習課題について、協力し考えを深める姿勢が身に付いている。また、あいさつ運動や作品交流、中学生による小学校での読み聞かせなど、定期的に小中の交流を行うことで、相互の信頼感を高め、個々の自信や将来の意欲につながっている。

**地域のようす**  
 JR宇都宮線小金井駅を最寄りの駅とし、交通の要所である国道4号線を中心線として、東西に開けた自然豊かな地域である。また、旧来より日光街道の宿場町として栄え、下野国分寺跡や国分尼寺跡などの文化遺産を有する歴史と伝統ある地域である。保護者や地域住民は学校の教育活動に理解があり、協力的である。



**学習指導部会**

- ◇ 授業研究チーム ◇ 学力向上チーム
- ◇ 特別支援チーム

小学校・中学校で共通して「家庭学習協調週間」を設定するなど、9年間の学びをつなぎ、揃えることで、安心して学習に取り組めるように工夫しています。

道徳科の板書を3校で共有

**児童・生徒指導部会**

- ◇ 子ども未来プロジェクトチーム
- ◇ 児童生徒指導チーム

小学生や中学生の代表が、「つながり」について具体的な取組を話し合ったり、朝のあいさつ運動をしたりして交流の場を広げています。

小中あいさつ運動

**健康安全指導部会**

- ◇ 体力向上チーム
- ◇ 健康・食育チーム

家庭での生活リズムを整えるための家庭生活チェックの実施や、基礎体力の向上を目指して3校共通の準備体操を取り入れています。

小学校での国中体操の実施

**地域連携部会**

- ・ 読み聞かせ
- ・ 作品交流
- ・ 里山活動

中学生による小学校での読み聞かせ

里山活動